

学校評価シート(自己評価) 令和5年度

名前 ()

こまどり幼稚園

1. 園の教育目標

「一人ひとりが主役」子どもたちの居場所は、幼稚園である。一人ひとりが成長しようとする心のサポートを何より大切にしていけることを願って保育に取り組む。本園では、教育目標を次のように掲げ、遊びながらいろいろなことを学べる子に育ててほしいと日々の保育を進めている。

○明るい子 笑顔で明るく挨拶のできる子

○優しい子 友だちを思いやる子

○かしこい子 自分で工夫して遊べる子 お外で元気に遊べる子

2. 具体的な目標や計画

評価項目に沿って、自己点検・自己評価を実施することにより、自己のクラス経営を見直し、新たな課題に取り組んでいく。それと同時に施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいく。幼児理解に基づいて、保育の再構成をする。(PDCA) (プラン、ドゥー、チェック、アクション)

3. 評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果 (※)	結果の理由
(1) 幼稚園教育要領をふまえ、園の教育理念・教育方針を理解し、保育計画をしているか?	A:8 B:3	園の教育理念、教育方針に従い、学年で週案を立て保育を行うことができた。教育目標のもと、子どもたちが主体的になり、のびのびと過ごせるように遊びの中から学び感じられる環境をつくることができた。 一人ひとりの子どもが成長できるように学年で話し合いをすることができた。
(2) 子どもの良さを認めて、それを伸ばそうとしているか?	A:9 B:2	子ども一人ひとりの良さを認め褒めてあえることで自信につながられた。子どもたちの個性を理解し、頑張ったことやできるようになったことをたくさん褒めてあげ、自己肯定感を高められるようになった。
(3) 規則正しい生活習慣や基本的な道徳心の定着に向けてどのような具体的な方法を考えているか?	A:8 B:3	何かをしてもらったら「ありがとう」と言えるように指導できた。チャームで行動できるようになった。善悪の判断、親切、思いやり、相手の気持ちなどその場に応じてその都度伝えられた。相手の気持ちを一緒に考えるようにして道徳心をもてるようにした。
(4) 子ども理解を深め、その子の実態に沿って、あそびを工夫したり、広げたりしているか?	A:5 B:6	子どもの興味関心・発達に合わせた環境構成をしている。保育者の提案や声掛けにより、子どもの遊びが広がったり、豊かになるよう意識して関わっている。
(5) 保護者の要望に適切に判断しているか? 苦情には、丁寧に説明をしているか?	A:2 B:9	日頃から、子どもたちの様子がわかるようにこまめに伝えられている。保護者の気持ちを真摯に受け止め連絡を密に取り、信頼してもらえよう心掛けている。必要に応じ、職員会議等で話し合い、全職員で情報を共有している。

A:十分に達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、成果が十分でない
D:取り組みが不十分である

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A:5 B:6	子どもたちにとって毎日がより良いものとなるようにここまでと自分自身が線を引かず保育に対し、子どもに対し愛情を持って、今後も取り組んできたしこれからもそうしたい。 自分の保育を振り返り、自己評価をし、達成できていた。 子どもと同じ目線に立ち一緒に遊んだり、考えたりして、信頼関係を築くことができた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
行事について改革が必要か？ 新たな行事あるか？	個々の行事について教職員間で十分に話し合い、必要に応じて見直しを行う。 子どもたちが行事に親しみ、様々な行事に楽しく参加できるようにしていく。 新しい時代に合った形を模索して、実行することも大切だと思う。 子どもの実態や保護者の意向に合わせて変えていく必要がある。子どもたちの成長に繋がる場であることを忘れずに取り組んでいきたい。
教師の役割と保護者への対応の仕方について研修などが必要か？	保育者同士で話し合うことで新たな気づきや学びを得ることができると研修を受けることは大切である。子どもだけでなく保護者にとってお手本となれるよう努力する。 保育者の資質向上のためにも研修などがあれば参加するようにしたい。 必要があると感じる。実際に研修の場行くと保育を改めることもでき、対応の引き出しを増やせるようになった。 対応の仕方はその都度変わってくる為、研修ではなく他の先生方に相談することが大切だと思う。 保護者の思いに寄り添いながら対応しているため研修はいりません。 保護者の多様化を感じる。研修も大事だが何かあったとき保護者の対応と一緒に職員が考え、否定しないとよいと思う。
保育者として自己評価をしているか？ 保育者として向上するにはどうすればいいか？	保育日誌を記入する際、自身の保育を1日振り返り次の保育に生かしていく。 先生方とのコミュニケーションをとり、向上できるようにしている。 一日の中での子どもとの関わり、環境構成や保育者としての動きを振り返るようにしている。保護者との連絡を取り合い子どもの成長に向けて情報を共有できるように配慮している。 周りを見ることを大切にしているが比べず保育クラス運営に対し信念を持ち行っている。今後も保育や子どもたちのために役立つことを増やすために資格や研修に参加している。 保育者としての目標を達成できるように真摯に取り組んでいきたい。
園の担当の仕事について十分に役割を担っているか？	職員全員で分担して、準備し協力し合って進めている。 最後まで責任を持って行うようにしている。担当だけではなく、周りにも目を向け協力できるように心掛けている。 自分の担当の係や仕事担当の仕事を理解し取り組んでいきたい。後輩の先生たちを育てていく立場として、話を聞いてあげたり、良いアドバイスができるようにしたい。
気になる子への支援について対策を講じ相談をしているか？	その子に合った接し方、支援方法を学年で相談したり、職員間で共通理解をしていくようにする。 子どもの様子を職員間で共有し対応について話しあう。教育相談、巡回指導を利用し参考にする。 保護者に園での子どもの様子を伝え、保護者からは家庭での様子を伺うことでその子らしく園生活を送れるような対策を共に考えている。また、園全体で共有することで様々な働きを増やしたり、理解を深めていくことが大切である。

学校評価シート（学校関係者評価）まとめ

1 自己評価で設定した教育目標、具体的な目標や計画の設定は適切でしたか。

適切である 5 やや適切である 1 適切でない

- ・先生方が明るく、登園時に挨拶をして迎えてくれるから登園できる。
- ・先生方が、子どもたちの心のサポートをすることで、自信や自己肯定感が上昇し「明るい子、優しい子、かしこい子」へとつながっていく。
- ・毎年度見直しをし改善していくことで、新しくなっていく保育の在り方に適応できると思う。

2 評価項目の取組及び達成状況の5項目の結果については適切でしたか。

適切である 4 やや適切である 2 適切でない

- ・(5) の子どもの様子をこまめに伝えているという点で、ある保護者より「子どもがけがをして帰ってきたが先生から何もなくて不安」など耳にしたことがある。
- ・4, 5については、なかなか一人ひとりに寄り添うことは難しいと思うが、保護者の話にも寄り添ってもらえているのを感じる。
- ・歩きコースは、先生方と話し合えて自分の子の様子がよく分かる。

3 具体的な目標や計画の総合的な評価結果については適切でしたか。

適切である 5 やや適切である 1 適切でない

- ・先生方においては、園児たちに愛情を持って接してくれていると感じる。
- ・子ども達が先生方を好きでコミュニケーションもしっかりと行われ、信頼関係が築かれていると感じる。
- ・子ども達の園生活が良くなることを第1に考えていると思われ良いと感じた。
- ・実態とぶれることなく自己評価がなされていると感じる。現状に満足せず向上心をもって取り組んでいることが結果に表れていると感じる。

4 今後取り組むべき課題は適切だと思いますか。

適切である 4 やや適切である 1 適切でない 1

- ・研修等で輪が広がれば、500人、1000人の保護者の話を伺えると思う。多様化に備え予備知識を取り入れることも必要かと感じた。
- ・園全体で共有している点等、気になる子への支援もよく考えていると思う。
- ・園と先生方のやるべき事などがはっきりと目標として示されていると思う。行事など新しい時代へ変えていくことも保護者の意向もくみ取って取り組んでいると思う。
- ・一部にコロナ禍の様にしてほしいという意見もあり、伝えたのに対応されていない。

5 その他何でも気づいたことや感想、ご意見等ありましたらお願いいたします。

- ・色々な個性や考えがあるなか個々の意見を尊重していただきありがとうございます。
- ・年々気温が上昇傾向にありますので、子ども達の体調管理には十分きをつけてください。
- ・保護者が安心して子どもを預けられる園でこれからもありますよう継続してください。
- ・先生方が子ども達に思いやり、仲良くすることを、安全に過ごすことを教えてくれ、幼稚園は素晴らしいと思います。限られた保育時間内でもたくさんの愛情を注いでくれる保育がずっと続くことを願っています。
- ・先生達に毎日感謝です。挨拶をしてくれない先生がいると一部の保護者から聞きました。そこら辺はきちんとしてください。